

2023 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [東洋女子高等学校] 担当教諭名 [村山 祐己] (2年1・2・3・4・5組 136名)

相手国・地域 [サウジアラビア]

海外学校名 [International Programs School] 担当教諭名 [Saira Muhammad]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時間数
	総合的な探究の時間 その他	アートマイルプロジェクト	14

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	sustainable world
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	Let's be interested in Nature ~it is not someone else's problem~ Let's 3R ~Recycle Reuse Reduce~ Let's be Eco Friendly ~Produce and buy eco-friendly products~



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 生徒それぞれが、交流・SDGs学習・壁画・広報のいずれかを担当した。それぞれの担当がいるグループを15個作った。そのグループの中に交流・SDGs学習・壁画・広報の担当リーダーが1人ずつ配置された。リーダーを中心に調べ学習をし、各グループで協力して行い、協働学習の意識を深められた。また、それを交流校へ発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> リーダー以外のメンバーの活動への意識や責任感に温度差が生まれてしまう場面があった。 相手国とのビデオ会議をする際、生徒が発言したい内容を即座に英語で、生徒自身の言葉で、レスポンスできるようにレベルアップを目指したい。 絵を描くことが苦手な生徒が多く、思いやメッセージを形にする際に苦戦した部分が見られた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 初めは、他国の生徒と英語で交流することに不安を感じる生徒もいたが、Zoom上で顔を合わせ、会話することで、交流した生徒や相手国へ親しみをもち、交流を楽しむことができていた。 自国にはない文化や思想に触れることで、視野を広げ、相手国のことを理解したいという気持ちも芽生えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前、本校のパートナー校の担当教員をされていたSairaさんとは、2回目の協働学習となった。そのため、やり取りや文化の違いなどに違和感を覚えることなくスムーズに、計画・学習していくことができた。 壁画を送付後、返ってきてしまったが、交流校と冷静に対応することで、無事に送ることができた。協働していく中で、助け合いの精神も学ぶことができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> 各クラスで「陸の豊かさを守ろう」と「つくる責任・つかう責任」について自国の現状や課題について学び、考察した。 グループ内で、上記のゴールに関する問題を調べ、交流校へ発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで深く調べ、考えることになかったテーマの生徒もおり、新たな発見をし、考えを深めていた。 日本とサウジアラビアの違いに気づき、そこに存在する違いは、何から生じているのか、SDGsの観点から考えることができた。 	探究6 放課後
共有 相手と意見交換	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 「陸の豊かさを守ろう」と「つくる責任・つかう責任」の2つに共通する3つの質問を作成した。 Zoom会議やフォーラムを通し、上記に関して、考えを共有・意見交換をした。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めてのZoom会議に緊張と不安を覚えている生徒も少なくなかったが、実際に話をしてみると、徐々に自信がわいてきて、自分の英語でコミュニケーションを取ろうとする態度がみられ、終わった後は達成感を強く感じていた。 	放課後
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画のメッセージ決め 壁画リーダーと交流リーダーが今まで学習してきた事を踏まえて、メッセージを考えた。 壁画デザインの決定 2つのゴールと協働学習した内容を踏まえ、モチーフや壁画の案を作成し、交流校と共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> 「陸の豊かさを守ろう」と「つくる責任・つかう責任」の2つに共通する3つの質問と、今まで協働学習してきた内容を踏まえメッセージを作成するのに苦労していた。時間をかけ、仲間と議論しながら、メッセージを作成することで、より学習内容を深められた。また、それを英語に訳すのに苦労した。 	放課後
創造 壁画制作	10月 ～ 12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画アーティストの方による講話 壁画の制作、完成 	<ul style="list-style-type: none"> 海外で壁画を描き、活躍されているミヤザキケンスケさんに経験談や壁画への想いをお話していただき、皆で協働して壁画を描く意義を深めることができた。 壁画リーダーが中心となって、学年全員で色塗りを行った。限られた時間で完成させ、円滑に活動を進めるために、自分が今何をすべきか視野を広げ、主体的に考え、協調しながら行動できている生徒が多かった。皆生き生きと活動し、想いを形にすることで大きな達成感を得られていた。 	探究2 放課後
評価 振り返り 自己評価	12月 ～ 2月	<ul style="list-style-type: none"> 小論文の作成 振り返りシートの作成 1年間のお礼を動画で作成、送信 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの学習を振り返るなかで、特に交流校の生徒と関わることができたことに喜びを感じ、感謝の想いを伝えたいという姿が見られた。 	探究6 放課後

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	4	Zoom会議を通して、日本の学校とは違う雰囲気やルールがあることを肌で実感していた。また、フォーラムを通じた交流校の自己紹介を見て、文化の違いを感じていた。
主体的に考え行動する力	4	リーダーを中心に、活動を充実させるために自らどのように動くべきなのか、周りを見て先を見通しながら行動できていた。自分の意見をしっかり持ち、グループのメンバーとも協力して活動することができていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	「陸の豊かさを守ろう」と「つくる責任・つかう責任」をグループごとに学習していく中で、客観的なデータを収集していた。また、壁画のメッセージを作成する際、議論していることがそもそも正しいのか振り返りながら学習することが出来た。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	Zoomでの会議を通して、共通の話題で異国の同年代の学生との会話を楽しむ力を育むことができた。自身の英語が伝わるかどうか感じている生徒もいたが、コミュニケーションをとっていく中で、相手のことをより知ろうとし、積極的に英語を話そうとしていた。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	2つのゴールから考えられるメッセージを、議論を重ねていき、決めることができた。議論の途中で、あまり納得のいかないものになると感じた時に、0から考え直すことができ、真剣に取り組んでいる姿が見られた。